

トップメッセージ



経営管理委員会会長
小野寺 敬 作



代表理事理事長
菅 原 和 則

みなさまには、平素より私ども岩手県信用農業協同組合連合会（愛称「JA岩手県信連」）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会の業務運営方針や令和3年度の業績および業務内容をご紹介するため、ディスクロージャー誌「JA岩手県信連の現況」を作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当会は昭和23年の創立以来、農業専門金融機関ならびに地域金融機関として、岩手県農業の維持・発展および地域のみなさまに食の安全と安心をお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの生活向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めてまいりました。

さて、令和3年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という）の再拡大による緊急事態宣言、まん延防止等重点実施措置といった行動制限によって、消費の過半を占めるサービス分野の低迷が続く等、業種間格差が拡大しております。

農業を取り巻く情勢においても、新型コロナウイルスの影響により外食・中食向けの販売量が減少したことにより米の価格が大幅に下落したほか、牛肉、乳製品の需要も減少し、農業者およびJA経営への影響が甚大となりました。また、世界的な食料供給の不安定化が続き、食料安全保障対策の立て直しが急がれますが、燃料・資材・飼料の値上がりに加え、農村部の人口減少や高齢化の進展、基幹的農業従事者の減少等を背景とした農業生産基盤の弱体化等、農業情勢の悪化に歯止めがかからない状況にあります。

こうした情勢下、当会は第18次経営3か年計画の最終年度として、JAバンク岩手の持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、貸出強化や店舗・ATM再編、営農経済事業の収益力向上・収支改善に向けたJAの取り組みを支援いたしました。

今後とも、「持続可能な岩手農業の確立」と「農業・暮らし・地域への金融仲介機能の発揮」に向けて、JAグループの一員として取り組んでまいりますので、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

経営管理委員会会長 小野寺 敬 作
代表理事理事長 菅 原 和 則